

〔優良活動部門〕

特定非営利活動法人甲州元気村

所在地 甲州市塩山中萩原1055番地1
 代表者 理事長 萩原 正樹
 構成員 10名

(地産地消を活かした産地づくりや遊休農地の解消)

担い手の高齢化などにより地域の遊休化したブドウ棚の存在に危機感を抱き、「農業を元気にすることで地域を活性化したい」との思いで平成20年に甲州元気村を設立した。1年で収穫可能な野菜の栽培によるブドウ棚の活用を検討し、試行錯誤の結果、かぼちゃの栽培に行き着いた。タイミング良く各種メディアで「空飛ぶかぼちゃ」として取り上げられたことも追い風となり本格的な栽培が始まった。地元スーパーでも取り扱いが始まり消費者からも好評を得ている。平成22年には、「甲州天空かぼちゃ」として商標登録し、ブランド化の基礎を築いた。甲州元気村の下部組織として「甲州天空かぼちゃ生産組合」を設立し、栽培希望者を組合員として受け入れ、商標の利用を可能としている。現在、甲州天空かぼちゃのブランド化、販売支援、農作業体験の受け入れ、イベントの開催、6次産業化製品の開発支援などの様々な活動をとおして、地産地消・地産訪消に取り組んでいる。

(地産地消と食育、食農教育を結びつける活動)

甲州天空かぼちゃを地域の特産とするべく、保育園児や高校生を対象にかぼちゃの植え付け・収穫体験を行ったり、県内外の子供たちの収穫体験を受け入れることで、食農教育をとおした地産地消・地産訪消の活動を行っている。

(消費者との交流及びニーズを踏まえた地域の農林水産物の生産、新商品の開発、販売活動)

平成22年からは、地域の学校や商工会等と連携しながら「天空かぼちゃ祭り」を開催し、さまざまなイベントと共にかぼちゃをブドウ棚につり下げて飾り付けることで、かぼちゃの生産を身近に感じてもらう取り組みをしている。地域の子供たちや保護者などに向けて、地域の農業について理解を深める機会を提供することで、地産地消への理解を深めている。



(かぼちゃの種まきの様子)



(天空かぼちゃ祭りのチラシ)

活動経緯

平成20年 設立
 平成22年 甲州天空かぼちゃを商標登録
 天空かぼちゃ祭りを開始
 平成30年 甲州天空かぼちゃロゴマークを商標登録

推薦理由 (甲州市)

甲州市は、果樹栽培が盛んな地域であるが、担い手不足、耕作放棄地の増加などの課題をかかえている。当団体は、遊休ぶどう棚を利用して、かぼちゃを育てるという新たな発想から、「甲州天空かぼちゃ」としてインパクトのある商標登録を行うとともに、メディアを活用してその名を全国に周知している。「甲州天空かぼちゃ」狩りや祭りなど、主に子供たちを対象とした農業体験を行うことにより、食農教育をとおした地産地消・地産訪消に取り組んでいる。かぼちゃの生産については、下部組織として生産組合を立ち上げ、生産者が年々増加している。現在、障害者等に農業への就業支援にも取り組みはじめており、今後の活動がさらに広がっていくことが期待される。